

平成 31 年度 4 月改編に向けた検討（案）

（見直し手順の進め方）

・平成 29 年中の利用状況（別紙資料 2）に基づき、利用実態の把握、利用者が少ない地域はどうしてなのか分析・精査が必要となる。

あくまで地域公共交通の役割としては、利用者の数ではなく人口の加重も勘案し精査を行う。

・その上で、利用者が少ない地域は減便も含めた見直しが必要であるのか、現行の利用状況の乗降者数（別紙資料 4）から 1 便あたりの 1 日の平均乗車数より県の数値基準を参考に、葛城市における指標を仮に設けて、その指標に基づいた既存ルートの見直し案の検討を進める。

・また、アンケート調査の実施による、利用目的の把握、利用者が多いのは病院なのか、福祉施設なのか、利用者の声を聴くことが必要となる。

（平成 30 年度中の法定協議会における課題）

・環状線ルート

大和高田駅への乗り入れ

大和高田市立病院の敷地内への乗り入れ

尺土南口と尺土駅の関係（重複していないか）

忍海～北花内ルートの短絡化

その他、ミニバスとの重複区間の解消、ハブ駅機能をどこに設定するのかを精査

・ミニバスルート

環状線の設定見直しを受け、ルートを再考

（最終イメージ案）平成 31 年 4 月改編に向けて

・環状線のスリム化

・ミニバスの減便及びルート変更

・平成 31 年 10 月に向けてデマンドを含む、新規交通形態の検討